
一心寺



遺骨を集めて造られた仏像と、ユニークな建築群で知られる天王寺公園北に位置する一心寺は、1185年に創建された浄土宗の寺院。鉄とコンクリートとガラスでできた施設を設計したのは、前住職で建築家の高口恭行長老だ。1977（昭和 52）年に建てられた日想殿は、大空間の広間を設けるため、瓦屋根を鉄骨トラス構造で持ち上げた。形を六角形にしたのは、屋根を折り曲げて境内全体との調和をはかるため。ガラス屋根の山門は大法要の際には舞台となり、地階にトイレを埋めたことでオープンスペースを確保している。また 2002（平成 14）年に完成した三千佛堂は、500 年もつ建築を目指した強固なコンクリート造で、寄進によって並ぶ金色の仏像群を、道路に面した大きな開口から直接に拝むことができる。これらはみな、高口長老が求めた「開かれた寺」を建築化したものだ。

（高岡伸一）

英語名：Isshinji

所在地：大阪市天王寺区逢坂 2-8-69 ほか

建設年：1977 年 -